岩手県立生涯学習推進センター

研修実施報告 Web版

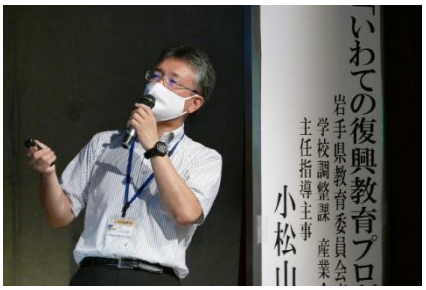
実 施 日：10月6日（火）
実施場所：岩手県立生涯学習推進センター
受講者数：54名
市町村参加率：42.4%

地域安全防災研修会

職　員　研　修
有志指導者研修
要　請　研　修

岩手の復興教育について、また、自分や他者の命を守る視点から地域とのつながりや地域防災について再確認すること、避難・避難所運営上の留意点を学ぶことを目的として研修会を開催しました。地域防災に関心のある市町村の生涯学習・社会教育関係者、地域づくり団体、学校関係者54名が参加し、災害に対する心構えや対処の仕方等について学びました。

復興・発展を支えるひとづくりを目指して



小松山 浩樹 先生

岩手県教育委員会事務局 学校調整課 産業・復興担当 主任指導主事の小松山浩樹先生から「いわての復興教育プログラムについて」と題してご講義いただきました。「いわての復興教育」の３つの教育的価値「いきる」「かかわる」「そなえる」について、また、ふるさとへの誇り・愛着、地域の復興・発展へとつながるひとづくりなどの「いわての復興教育」の可能性について、具体的にご説明いただきました。受講者からは、「これまでの岩手の復興教育について振り返ることができた」「岩手の復興教育について、その根幹にあるものを改めて理解することができた。子ども達の笑顔を絶やさないことが教育の責任であるという言葉に心が動いた」などの感想が寄せられ、復興教育の重要性や役割について再認識する機会となりました。

岩手の自然・災害、地域ぐるみで災害に備える

熊谷　誠　先生

岩手大学 地域防災研究センター 特任助教の熊谷誠先生から、「岩手の自然・災害を知る」「命をまもり災害に強い地域をつくるために普段からできること－自助・共助について」「感染リスクを考えた避難・避難所運営について」と題してご講義いただきました。岩手県で発生する自然現象・災害から身を守るための避難情報の入手や判断の仕方、また、地域防災・自主防災組織の必要性や活動内容など、専門的なお話を豊富な資料を基に具体的に分かりやすくご指導いただきました。受講者からは、「災害に対する危機の意識をより強くもつことができた。感染症リスクを考えた避難について大変勉強になった」「地域の実情にあった防災や安全を考える大きなヒントとなった」などの感想が寄せられ、災害に対する心構えや、コロナ禍での自主防災組織の具体的な取り組みについて考えを深めました。

研修会の様子

《受講者の声》

- いわての復興教育プログラムは、コロナ禍である今も、そしてこれからも本県の教育の柱になっていくべきものであることを改めて確認できた。
- 岩手を中心とした具体的事例や防災についての知識を得ることができ有意義だった。話が非常に分かりやすかった。
- 地域ぐるみで災害に備えるという点で、整えておかなければならないことや意識づくり等これから着手、点検すべきことが明確になった。

《受講者の評価》

A（有意義）	82.0%
B（どちらかといえば有意義）	18.0%
C（あまり有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（平澤）から》

防災に関わる新規事業でしたが、たくさんの方に受講していただきました。岩手の復興教育が目指すところを再認識するとともに、気象災害等を含む様々な災害に対する防災意識を高めることができました。